

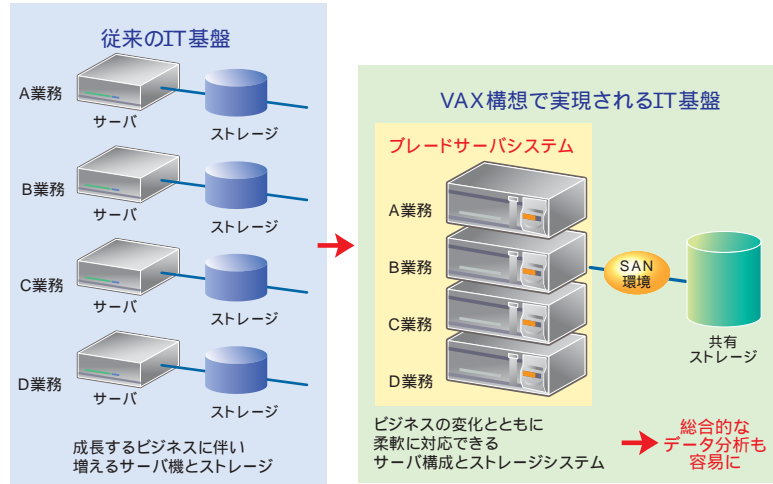
株式会社ベンチャー・リンク

代表取締役社長 / 松本 信彦

本社 / 東京都台東区寿2-1-13

http://www.venture-link.co.jp/

株式会社ベンチャー・リンクは、1986年3月に中堅中小企業向け情報サービスの提供を目的として設立。1995年3月にはJASDAQに株式を上場。その後のフランチャイズビジネスの展開を機に、事業規模を拡大し、2001年3月には東証第一部に株式上場を果たした。



「NEW BUSINESS CREATOR」 と「IT」

株式会社ベンチャー・リンクは、価値あるビジネスを生み出し、新たな事業を創造する「NEW BUSINESS CREATOR」として、1986年に創立した。幅広い年齢層に支持されている地域に根差した日常食業態の「まいどおおきに食堂」、女性だけの30分フィットネスの「カーブス」など、さまざまな業態のフランチャイズ事業を自ら手掛けている。

従来は、各フランチャイズの業務にあわせて個別にシステムを構築していたため、それぞれにサーバやストレージが必要であり、システムが複雑化していた。そのため保守も煩雑になり、運用コストが増大していた。また、年々増加する業務システムのサーバレベルを維持するために、業務の量が増加すると、その都度、サーバの増強や二重化などの対応が必要であった。その結果、サーバ開始までに時間がかかり、ビジネス展開の足かせとなることも予想された。

「ブレード型サーバ」と「共有ストレージ」で実現するIT基盤

ベンチャー・リンクでは、変化の激しいフランチャイズビジネスを支えるために「

グループ全体最適の視点から柔軟で俊敏な対応が可能なIT基盤を実現

「ブレード型サーバ」と「共有ストレージ」でIT基盤を構築

拡大するビジネスにあわせて煩雑化、複雑化するIT基盤。変化の激しいフランチャイズビジネスを支えるためには、柔軟で俊敏な対応が可能なIT基盤が必要である。今回、インテックは「ブレード型サーバ」と「共有ストレージ」双方を分離し、拡張性に優れ、信頼性も格段に向上したIT基盤を構築した。ベンチャー・リンクの今後の事業拡大にますます貢献するものと期待されている。



株式会社ベンチャー・リンク 執行役員 IT統括部長 吉田 智氏

フランチャイズを販売・運営するということはビジネスそのものが商品であり、業態ごとに事業会社としての機能が必要です。それらは「似て非なるモノ」で、ITシステムもそれぞれに必要となり、ASPなどで共有化できるほど単純ではありません。アプリケーションは個々に実装するにしても機器環境は何か効率化できないか。3~5年先を見据えたトータル構想を投げかけた後のインテックの反応は実に迅速でした。通常であれば数カ月かかる内容ですが、数日後の提案で私の頭の中は鮮明に具体化され意思決定もすぐでした。こういったかゆいところに手が届く適切な提案をいただけるということは、常に顧客の状態を考え、普段から準備していないとなかなかできないことです。インテックにはさらにその部分の磨きをかけていただき、お互いに発展していきたいと思っております。

柔軟で俊敏な対応が可能なIT基盤が求められていた。そこでグループ全体最適の視点から、各フランチャイズの情報収集し、グループ全体で共有することを目指した「コンソリデイト」Venture-Link Adaptive Execution」(略称 VAX)を打ち出し、2006年8月からその構想の実現にむけたIT基盤の構築をインテックとともに開始した。

VAX構想を実現するためのIT基盤は、「ブレード型サーバ」と「共有ストレージ」で構成される。「ブレード型サーバ」は、筐体にブレードと呼ばれる規格化された抜き差し可能なサーバを複数枚搭載したサーバである。あらかじめ将来の拡張を見越した筐体を用意することで、必要に応じてサーバを簡単に増設することができる。この複数のサーバが共有して使用する磁気記憶装置が、「共有ストレージ」であり、これも必要に応じて増設が可能である。このように、「ブレード型サーバ」と「共有ストレージ」の組み合わせは、システムの拡張を柔軟に行うことができるため、ベンチャー・リンクの今後のフランチャイズビジネスの拡大を支えるIT基盤として最適といえる。

総合的なデータ分析も容易に

このサーバとストレージは、SAN (Storage Area Network) に接続

されている。SANとは、磁気記憶装置間および記憶装置とコンピュータの間を結び高速なネットワークシステムのことである。SANで接続されるシステムは、一つの大容量ストレージを複数のサーバで共有する場合に特に有効である。サーバとストレージが分離していることで、双方の拡張性も向上する。

データ分析においても、既存のIT基盤では各フランチャイズの業務システムごとにデータ分析を行っていたが、新IT基盤では、各フランチャイズの業務システムを横断した総合的なデータ分析も容易になる。

IT基盤の整備を進め、さらなる事業拡大へ

経営環境の変化に俊敏かつ安定的に対応するためのIT基盤の構築は、経営戦略の重要な課題である。今回構築されたIT基盤は、VAX構想の最初の取り組みであり、ベンチャー・リンクは今後さらにこの構想を進めていく。